

「本に親しみ、本を楽しみ、本に学ぶみずほの子の育成」  
～「読書のまち みずほ」をめざして～



子どもたちに読書習慣を身に付けて欲しいと瑞穂市でも様々な取り組みがされています。ご家庭で是非、読書の時間を共有して頂ければと思います。



学校では教えてくれない大切なこと  
友だち関係 考え方のちがい

旺文社

私が小学生の頃はジャニーズアイドル全盛期で、私の友達にも V6 (分からない方は検索してみてください) のファンの子がいました。ジャニーズに関してまったく興味がなかった私は急にその子から「健くんと剛くんならどっち？岡田くんは私 (がファン) だからダメだよ。」と二者択一を迫られました。そもそもファンじゃないし、しかも顔でいうと岡田くんが一番かっこいいと思っていた私は返事に困りました。でも選ばないと何だか気まずいし…「じゃあ健くん」と答えました。それからは、

休日にアイドルのグッズやブロマイドショップに誘われ散々でした。合わせるのが苦しくなってきた私は結局最後に「ファンじゃない」とはっきり伝えましたが、そのことで関係が悪くなることはありませんでした。

あの頃の私は“相手と違う意見を言う”ことがとても怖いことで、“意見をその場に合わせる”ことを自然としていました。

学校という集団生活でとても大切なことは『自分の意見と相手の意見が違ってても相手の意見を否定しない』ことだと思います。でもそれは、“自分が正しい”と思っていると大人でも子どもでもなかなか難しいことです。他にも“友だちと意見が違くと不安”“自分の意見に賛成してもらえなくて腹が立つ”“自分の意見をきいてもらえないと悲しい”など集団生活では色々な感情を経験するでしょう。その感情がどこからくるものなのか、自分の考え方のクセや自分の心の中を整理するのにとても役立つ本だと思います。

今回紹介する本は児童書ですが保護者のみなさんもぜひ一度読んでみてください。イラストが多めで具体的に友だちとの場面が描かれているので、子どもも自分の身に置き換えて考えることができると思います。この『学校では教えてくれない大切なこと』シリーズは他にも沢山出版されています。

穂市図書館分館で貸し出ししていますので是非、読んでみてください。

(この本を紹介するにあたっては出版社に了承をいただいております。)

西小学校 PTA

